

2011年12月27日

報道関係者各位

株式会社マイテック

## 第一回『国内エンジニア1,000人のキャリア調査』を実施

「今後もエンジニアの仕事を続けたい」と思うエンジニアは8割以上と、専門志向が強い。また、グローバル化への関心度について、20代エンジニアの過半数が「海外で働いてみたい」。

株式会社マイテック(本社:東京都港区、代表取締役社長 西本甲介)は、日本国内のエンジニアが日々感じているキャリア感や就業感について、エンジニア1,000人に調査を実施し結果をまとめましたので、公表いたします。

大転換している日本の製造業の環境やIT技術の進歩・革新に加え、労働市場においても、労働力人口の減少、グローバル化、産業空洞化、雇用形態の多様化、雇用流動化等、急速な労働環境の変化が生じております。このような環境下で、日本の“モノ作り”に従事するエンジニアが、自身のキャリアや日本の技術力・モノ作りの今と将来について、どのように感じているのかを知るために実態調査を行いました。調査の結果が、関係各位の参考に供していただければ幸いです。

### 【調査結果の概要】

#### ＜就社・就職理由＞

- 現在の会社に就職した理由は「自分のやりたい仕事ができると思ったから」(46.2%)が最も高い。20代に限っては、「収入・給与を得るために」(34.0%)が最も高い。(P.3)
- エンジニアの仕事に就いた理由は「専門知識・専門スキルを活かせるから」(39.9%)、「モノ作りが好きだったから」(39.5%)、「興味のある分野の研究・開発を続けられるから」(39.0%)など、専門分野・モノ作りへの拘りが上位。(P.4)

#### ＜プロ意識＞

- エンジニアの仕事へのプロ意識は、30代になると急速に高まり、40代後半になると、多数が自分自身はプロフェッショナルだと感じている。(P.5)

#### ＜今後身に付けてほしいスキル＞

- 今後身に付けてほしいスキルは、「英語」「語学力」という回答が最も多かった。日本企業のグローバル化に対応するエンジニアの姿勢がうかがえる。(P.6)

#### ＜エンジニア継続意向＞

- 現在勤めている会社にかかわらず、今後も「エンジニアの仕事を続けていきたい」と回答したエンジニアは8割に達している。年代別では、年代が高くなるほどその傾向が強くなるが、20代でも約7割が今後もエンジニアの仕事を続けたいと回答。(P.7)

#### ＜会社軸・職業・職種軸によるエンジニアのタイプ分類＞

- 会社組織に属しながらも、職業・職種への拘りが強いエンジニアが55.9%と過半数以上を占め、そのうち、会社と職業・職種両方の拘りが強い“両立型”(35.6%)が3割以上。特に電気・電子分野のエンジニアは“両立型”が約半数を占め、その傾向が強い。また、年代別にみると、20代のエンジニアは会社や職業・職種への拘りが弱い“こだわりない型”が過半数を占める。(P.8)

#### ＜グローバル化への関心・勤務意向＞

- 日本企業のグローバル化に対して半数が関心を示しているが、自ら海外で働きたいと回答した者は3割。ただし、20代では、海外で働いてみたいというエンジニアは過半数を超える。グローバル化に対しての関心は未婚者よりも、既婚者のほうが高いことがうかがえる。また、現在はあまり身に付いていないものの、海外勤務に必要なスキルとしては「語学力」「コミュニケーション力」という回答が多かった。(P.9, 10, 11))

#### ＜日本の技術力に対する考え方＞

- 今の日本の技術力は世界をリードしていると思うエンジニアは過半数を占めるが、将来もリードしていると回答した者は約3割。今後技術力が高まりそうな国については、インドを筆頭に中国・韓国が上位となった。(P.12, 14)
- エンジニアの7割が、日本の将来は“技術力・モノ作り”にかかっていると回答し、半数近くは日本社会の発展のために働きたいと回答。ただ、日本の将来について、明るいと回答した者は1割未満と強い危機感を持っている。(P.12, 13)

## 調査概要

■調査目的 : エンジニアのキャリア意識・職業意識を把握する。

■調査対象 : 全国の製造業の技術職に従事している18歳以上の男女。

※技術職とは、生産管理職、技能職、労務職を含んでおりません。

■調査時期 : 2011年10月28日(金)～10月31日(月)

■調査方法 : インターネット調査

■有効回答数 : 1,000名

＜本件に関する報道関係の方々のお問合せ先＞

株式会社マイテック 広報部／清水、三宅、明石

TEL:03-5413-2633 FAX:03-5413-2622 E-mail:kouhou@meitec.com

## 1-1)就社・就職理由 ～現在の会社への就職理由～

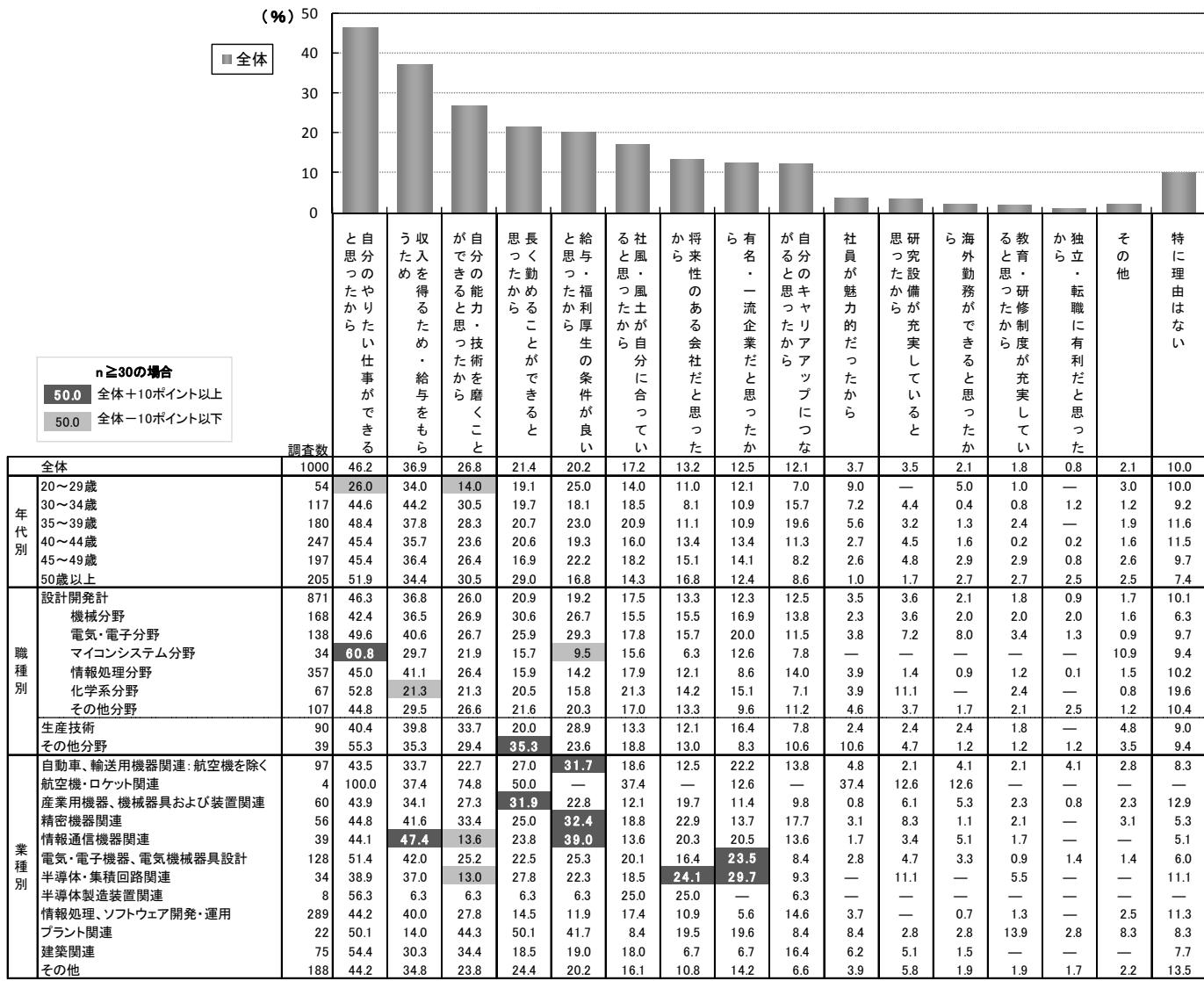
現在の会社に就職した理由を尋ねたところ、「自分のやりたい仕事ができると思ったから」が46.2%と最も高く、以下、「収入を得るため・給与をもらうため」(36.9%)、「自分の能力・技術を磨くことができると思ったから」(26.8%)と続く。会社(属性)よりも“仕事内容・キャリア”を、より強く意識して就職した様子がうかがえる。

ただし、年代別にみると、【20代】では、「収入を得るため・給与をもらうため」の回答が34.0%と最も多く、「自分のやりたい仕事ができると思ったから」が26.0%、「自分の能力・技術を磨くことができると思ったから」が14.0%と、【30代以上】に比べるとスコアが低くなっている。

また、職種別にみると、【マイコンシステム分野】の設計開発職で「自分のやりたい仕事ができると思ったから」(61%)が6割に達している。

Q.現在の会社に就職した理由は何ですか。

#### ■現在の会社への就職理由(全体／複数回答)



## 1-2)就社・就職理由 ～エンジニアの仕事に就いた理由～

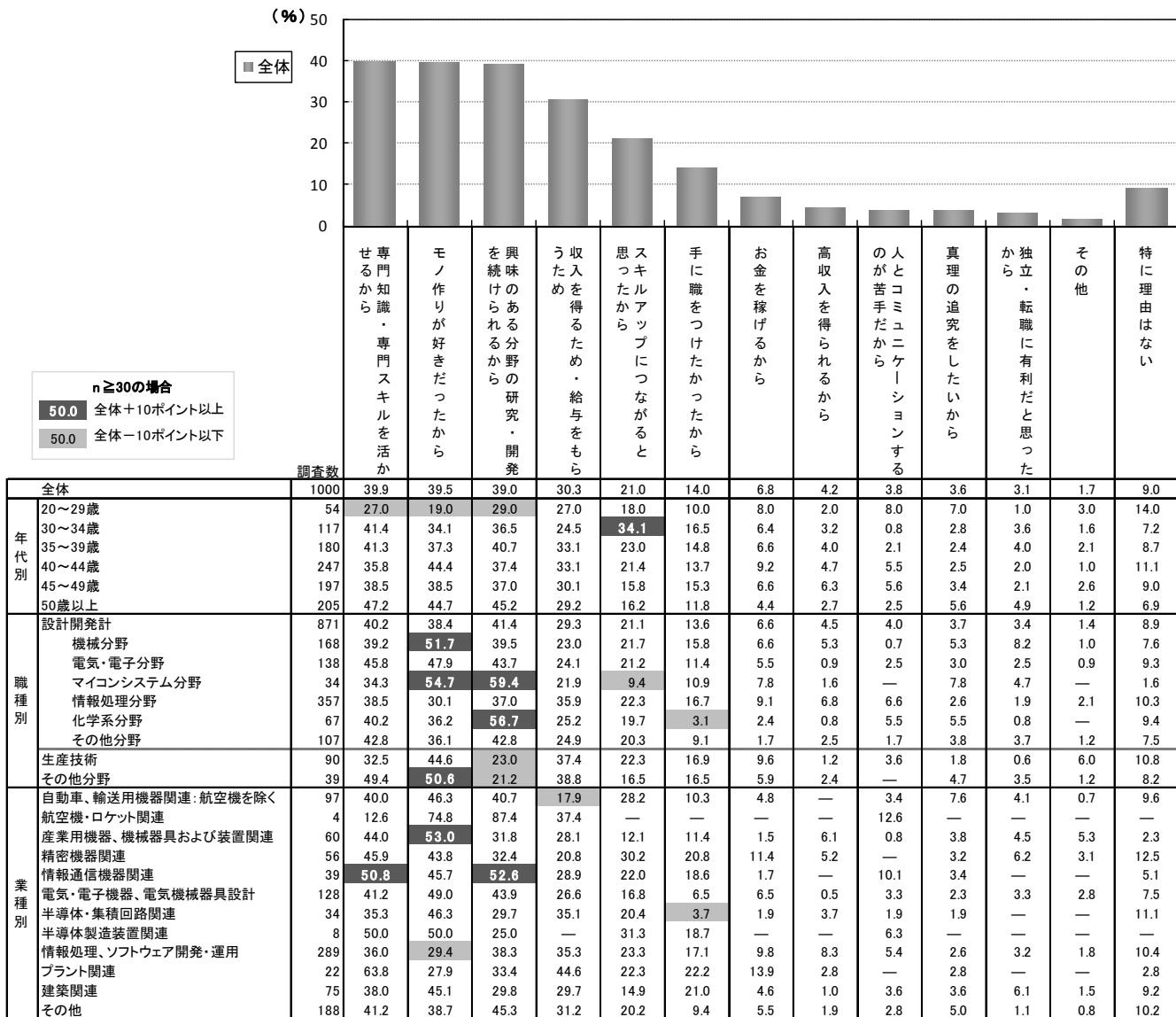
エンジニアの仕事に就いた理由を尋ねたところ、「専門知識・専門スキルを活かせるから」(39.9%)、「モノ作りが好きだったから」(39.5%)、「興味のある分野の研究・開発を続けられるから」(39.0%)など、専門分野・モノ作りへの拘りが上位となっている。

ただし、年代別にみると、【20代】での「専門知識・専門スキルを活かせるから」(27.0%)、「モノ作りが好きだったから」(19.0%)、「興味のある分野の研究・開発を続けられるから」(29.0%)のスコアが、いずれも【30代以上】に比べると低くなっている。

また、職種別にみると、【設計開発職】での「興味のある分野の研究・開発を続けられるから」のスコアが【生産技術職】、【その他職種】を大きく上回っている。

Q.エンジニア・技術職の仕事に就いた理由は何ですか。

#### ■エンジニアの仕事に就いた理由(全体／複数回答)



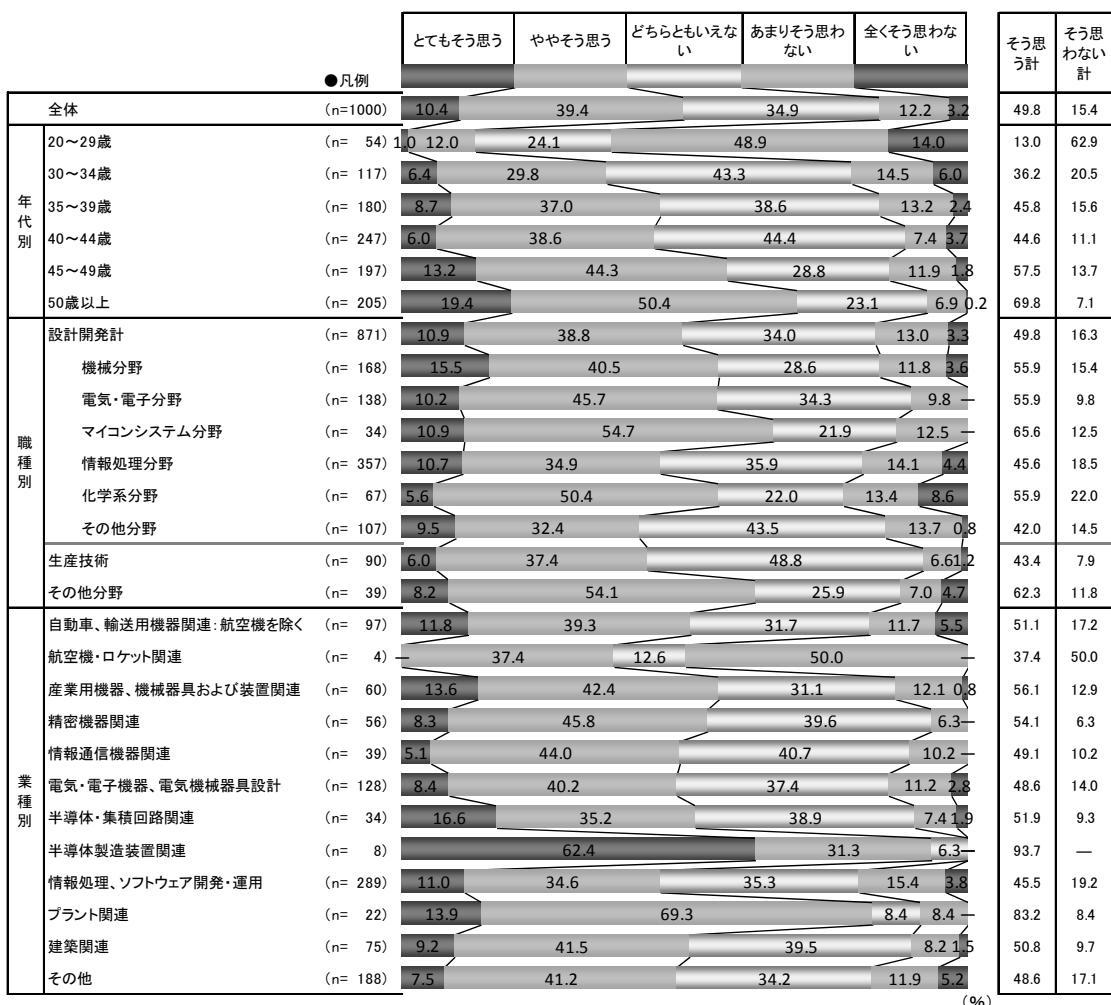
## 2) プロ意識

自身はプロフェッショナルだと思うかと尋ねたところ、エンジニアの49.8%がプロフェッショナルだと思うと回答した。

年代別にみると、【20代】から【30代】になると、プロ意識が急速に強まり(+23.2ポイント)、【40代後半】になると、6割近くとなる。さらに、【50代】になると、約7割のエンジニアが、プロフェッショナルだと思うと回答している。

Q.現在の仕事について、あなたにあてはまると思うものを、それぞれお答え下さい:プロ意識。

■仕事観【自分はプロフェッショナルだと思う】(全体／単一回答)



(%)

### 3)今後身に付けたいスキル

今後身に付けたいスキルは、「英語」・「語学力」という回答が最も多かった。日本企業のグローバル化に対応するエンジニアの姿勢がうかがえる。

Q.今後身に付けたいと思う技術力・スキルを具体的にお答え下さい。

#### ■今後身に付けたいスキル(全体／自由回答)

【全体】

調査数 1000

順位	スキル	件数
1	英語	175
2	語学力	112
3	プレゼンテーション能力	90
4	コミュニケーション能力	81
5	折衝力・交渉力	66
6	リーダーシップ	57
7	提案・説得力	33
8	企画立案力	29
	マネジメント能力	29
10	中国語	26
11	ITスキル	24
12	分析力・解釈力	23
13	プログラミング	20
14	技術力	17
15	業務遂行能力	14
	専門知識	14
17	専門分野の技術	12
18	発想力・想像力	11
	プロジェクトマネジメント	11
20	電気・機械技術	10
	PC・ハードウェア知識	10
22	情報処理力	9
	理解力	9
	異文化コミュニケーション	9
	営業力	9
26	ソフトウェア開発	8
27	情報収集力	7
	ネットワーク・Web開発	7
29	管理能力	6
30	課題解決力	4
	設計力	4
	開発力	4
	コンサルティング	4
	資格	4
	特になし	163

## 4) エンジニア継続意向

現在勤めている会社にかかわらず、エンジニアの仕事を続けたいか尋ねたところ、「一生続けていきたい」と回答したエンジニアは18.0%で、これに、「できれば続けていきたい」(62.1%)を合わせると8割に達している。

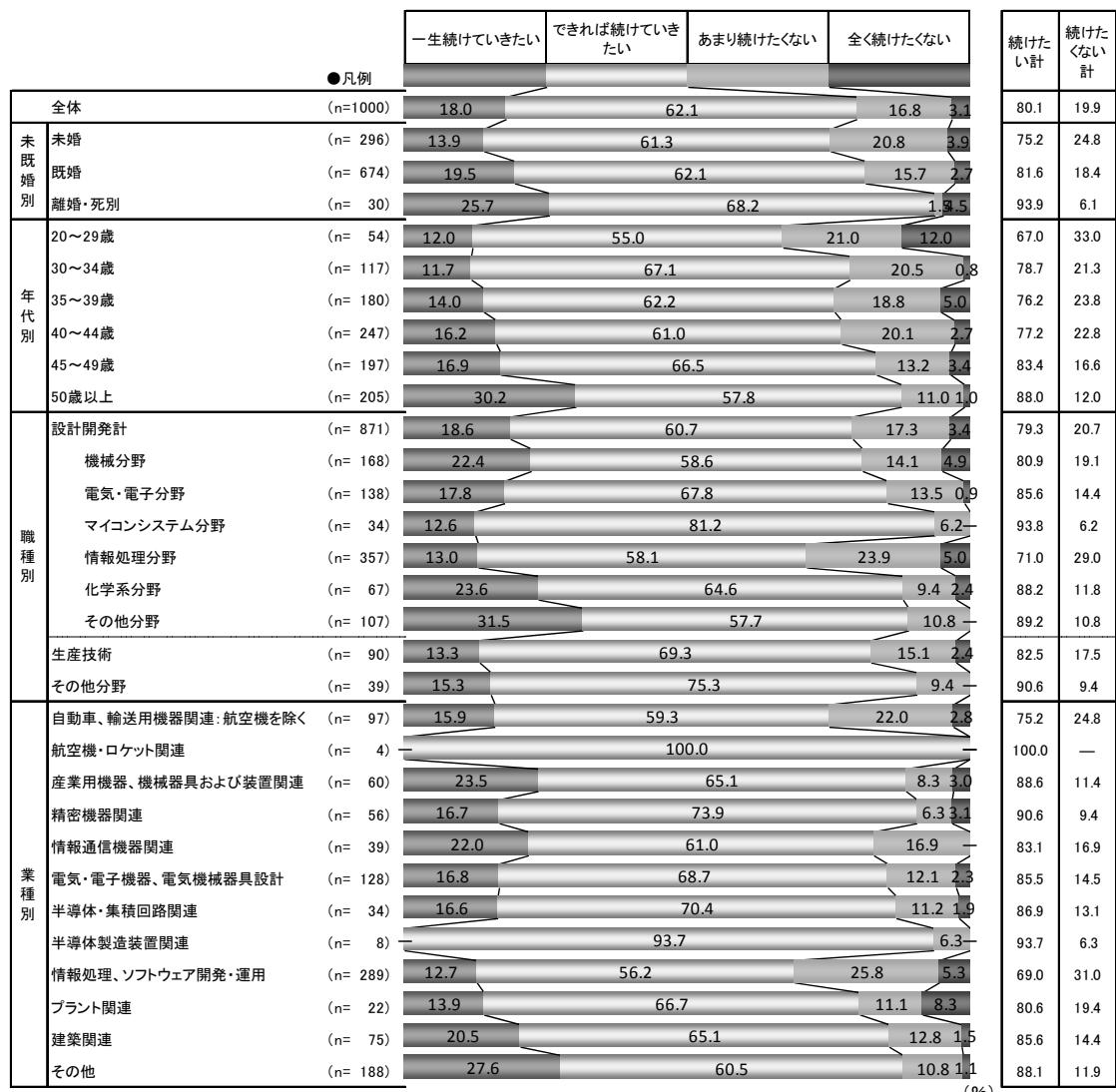
未既婚別にみると、相対的にエンジニア継続意向の低い【未婚】でも75.2%と高い。

年代別にみると、年代が高くなるほど、エンジニア継続意向が高いが、最も継続意向の低い【20代】でも7割近い。

また、職種別にみると、【マイコンシステム】、【化学系分野】、【電気・電子分野】の設計開発職での継続意向が、相対的に高くなっている。

Q. 現在の会社にかかわらず、今後もエンジニアの仕事を続けたいと思いますか。

■エンジニア継続意向(全体／単一回答)

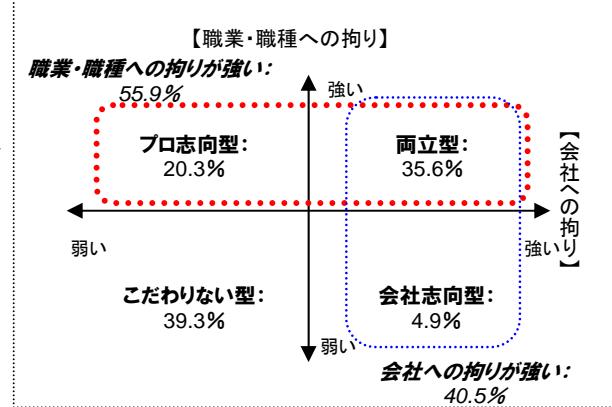


## 5)会社軸、職業・職種軸によるエンジニアのタイプ分類

会社、職業・職種への考え方を元に、エンジニアを4タイプに分類した。

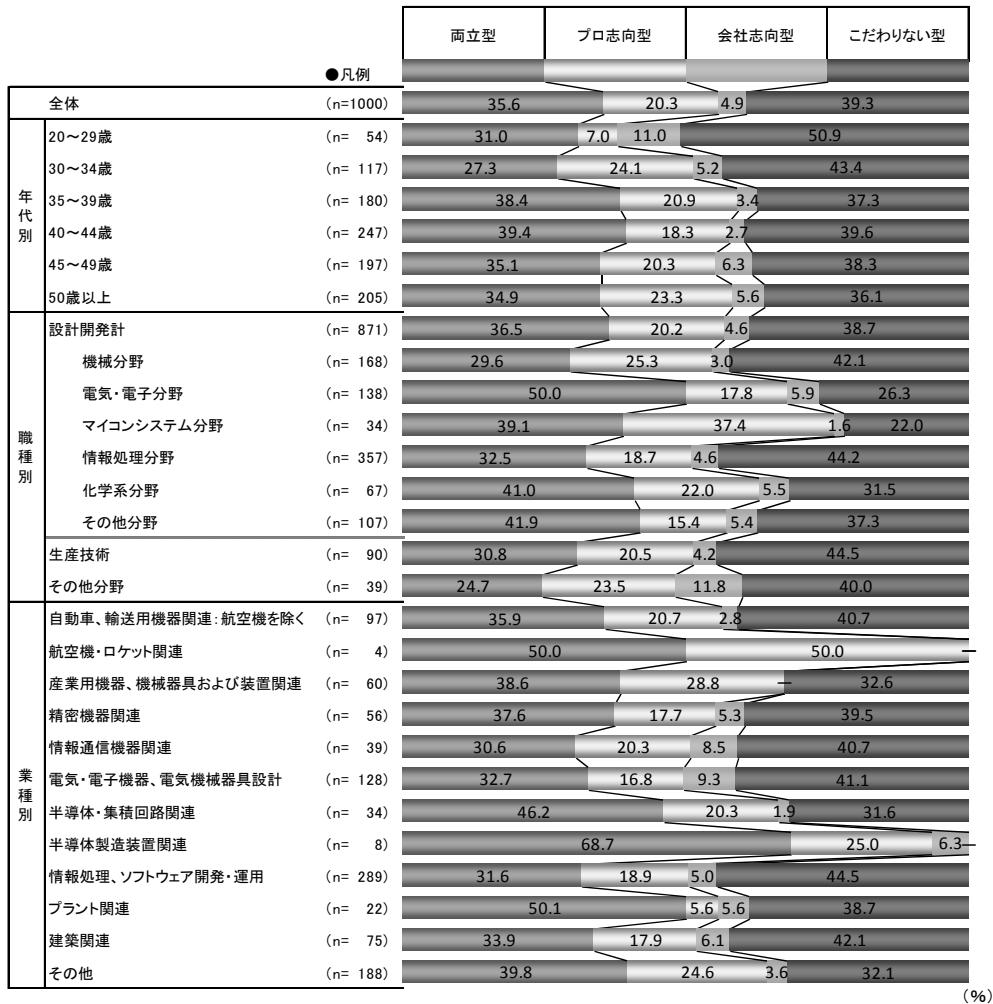
これをみると、会社組織にいながらも、職業・職種への拘りが強いエンジニアが55.9%(赤点線)と過半数以上を占め、その中でも、会社と職業・職種両方の拘りが強い“両立型”(35.6%)が3割以上と多い。特に電気・電子分野のエンジニアは“両立型”が約半数を占め、その傾向が強い。

また、年代別にみると、20代のエンジニアは会社や職業・職種への拘りが弱い“こだわりない型”が過半数を占める。



Q.あなたは今度生まれ変わるとしたら今の職業・職種に就きたいですか。  
 Q.あなたは今度生まれ変わるとしたら今の会社で働きたいですか。

■エンジニアのタイプ分類(全体／単一回答)



(%)

## 6-1)グローバル化への関心・勤務意向 ~日本企業のグローバル化・海外展開の関心度~

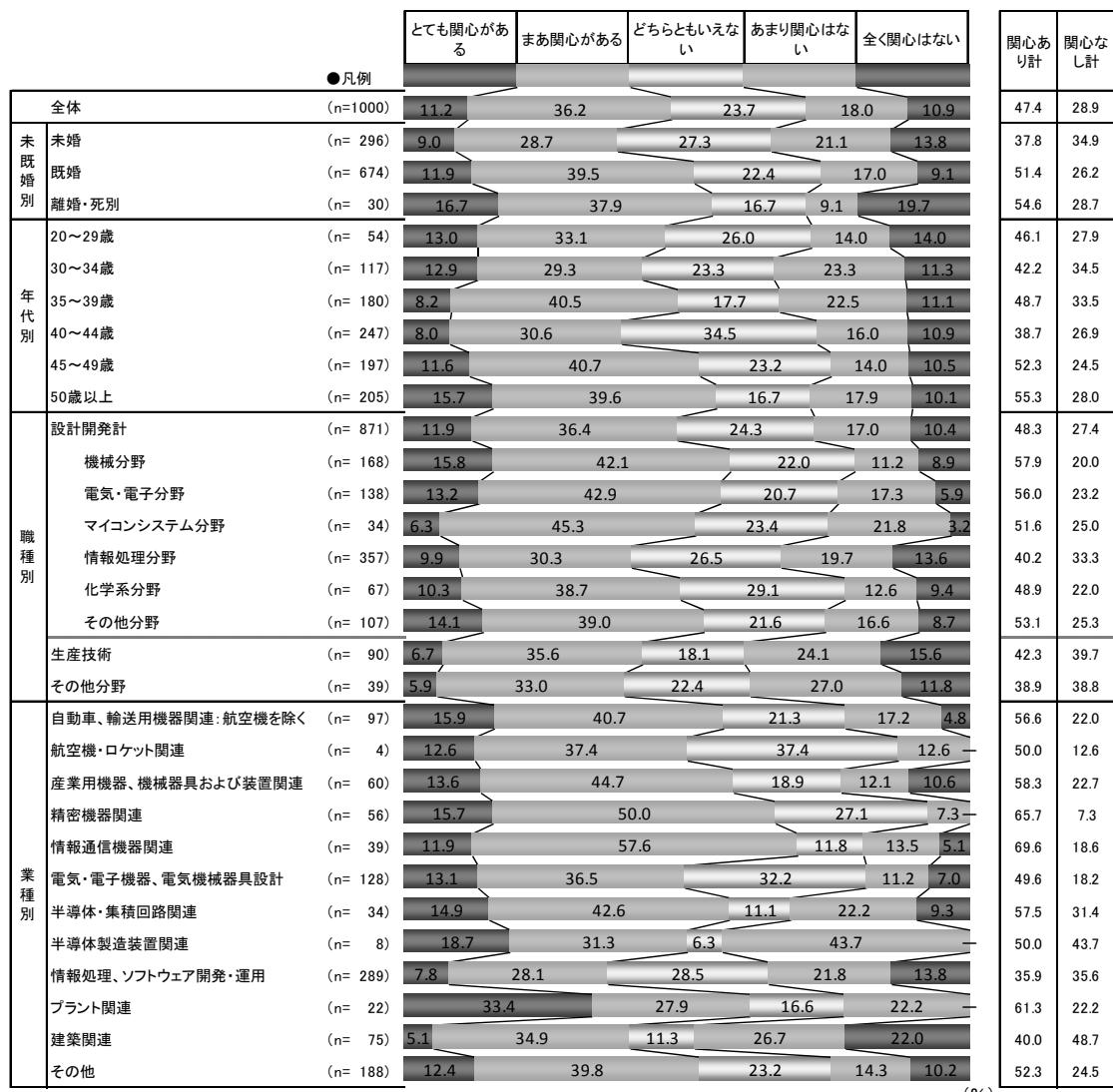
日本企業のグローバル化・海外展開についての関心度を尋ねたところ、関心があると回答したエンジニアは47.4%となっている。

未既婚別にみると、【未婚】では、回答が2分化しており、関心度は4割に満たない。

職種別にみると、情報処理分野以外の設計開発職でのグローバル化・海外展開への関心度が、総じて高くなっている。

Q. 日本企業のグローバル化・海外展開について、関心はありますか。

■日本企業のグローバル化への関心度(全体／単一回答)



(%)

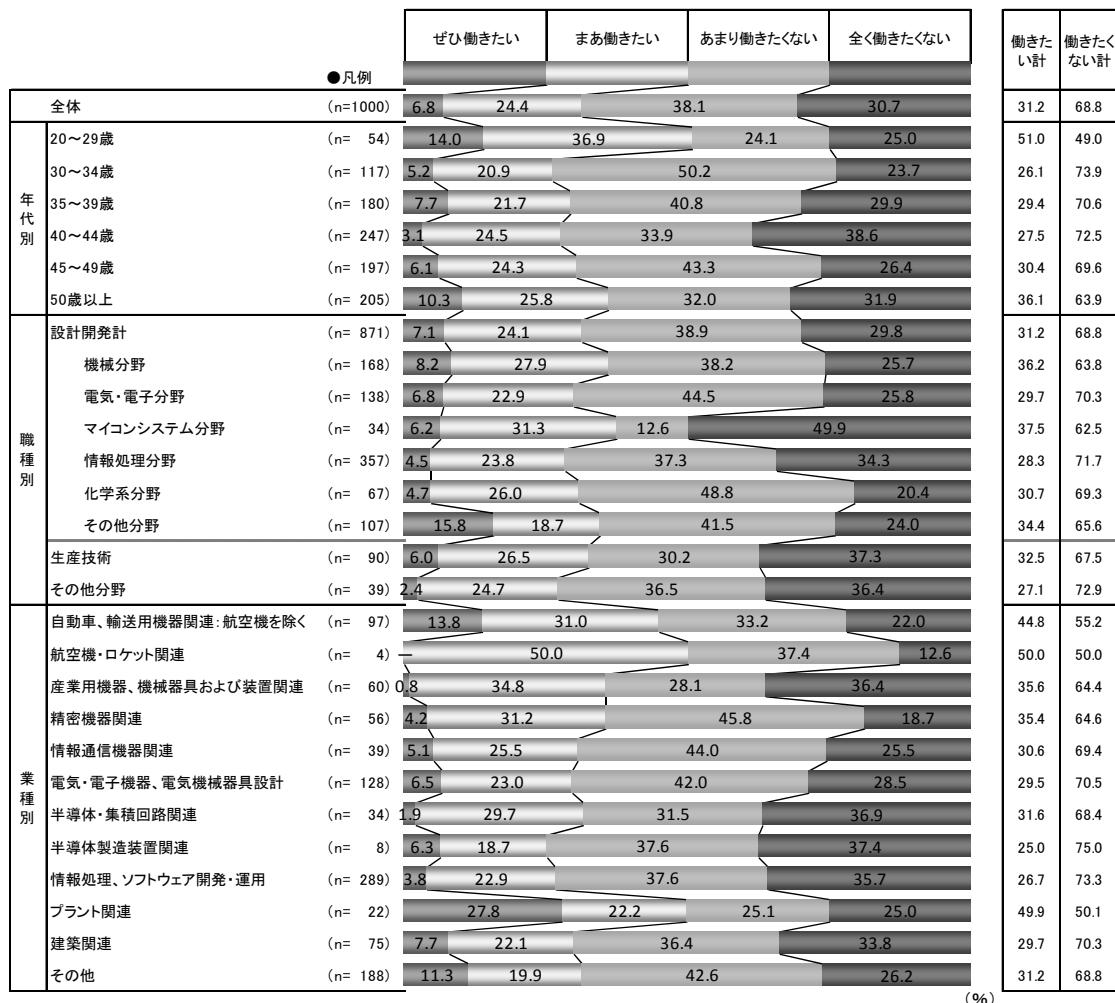
## 6-2)グローバル化への関心・勤務意向 ~海外勤務意向~

一方、エンジニア自身が海外で働いてみたいか尋ねたところ、働きたいと回答したエンジニア(31.2%)は3割を超える程度であった。

年代別にみると、【20代】での海外勤務意向が51.0%と、【30代以上】に比べて高くなっている。

Q.あなたは、海外で働いてみたいと思いますか。現在のお気持ちに近いものをお答え下さい。

■海外勤務意向(全体／単一回答)



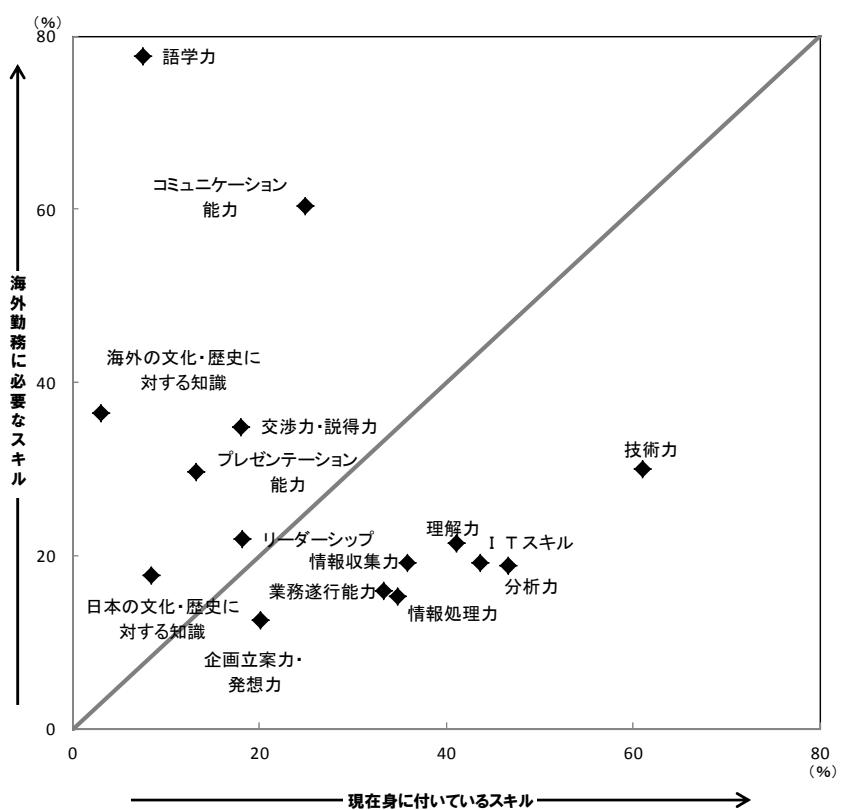
## 6-3)グローバル化への関心・勤務意向 ~海外勤務に必要だと思う能力・知識・スキル~

海外勤務に必要だと思う能力・知識・スキルを尋ねたところ、「語学力」(77.7%)、「コミュニケーション能力」(60.4%)が突出している。

現在身に付けているスキルと比較すると、「語学力」、「コミュニケーション能力」は、現在身に付けている割合は低く、両者の間にギャップがみられ、海外勤務意向を阻害する要因となっていることがうかがえる。

Q. 海外勤務・海外赴任に必要だと思う能力・知識・スキルをお答え下さい。

■海外勤務・海外赴任に必要だと思うスキル(全体ノ/複数回答)



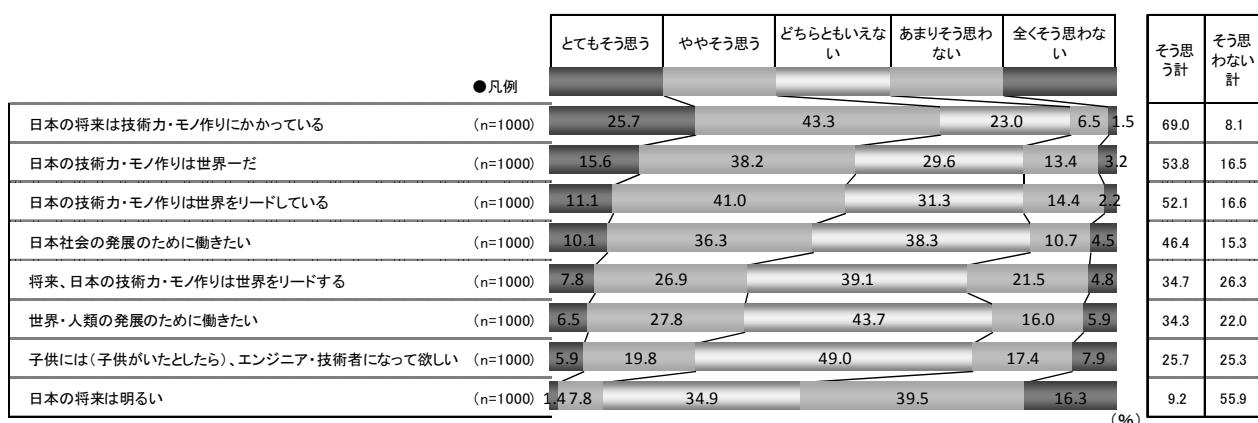
## 7-1)日本の技術力に対する考え方

日本の技術力・モノ作り、将来展望に関する意見を尋ねたところ、エンジニアの69.0%が、日本の将来は“技術力・モノ作り”にかかっていると回答しており、日本社会の発展のために働きたいと回答したエンジニアは46.4%となっている。

ただし、現在は世界をリードしている(52.1%)が、将来も世界をリードしていると回答した者は34.5%に留まり、日本の将来は明るいと回答した者は1割に満たない。さらに、「子供には(子供がいたとしたら)、エンジニア・技術者になって欲しい」と回答した者は25.7%に留まっている。

Q. 以下の事柄について、あなたにあてはまると思うものを、それぞれお答えください。

■日本の技術力に対する考え方【マトリックス】(全体／単一回答)

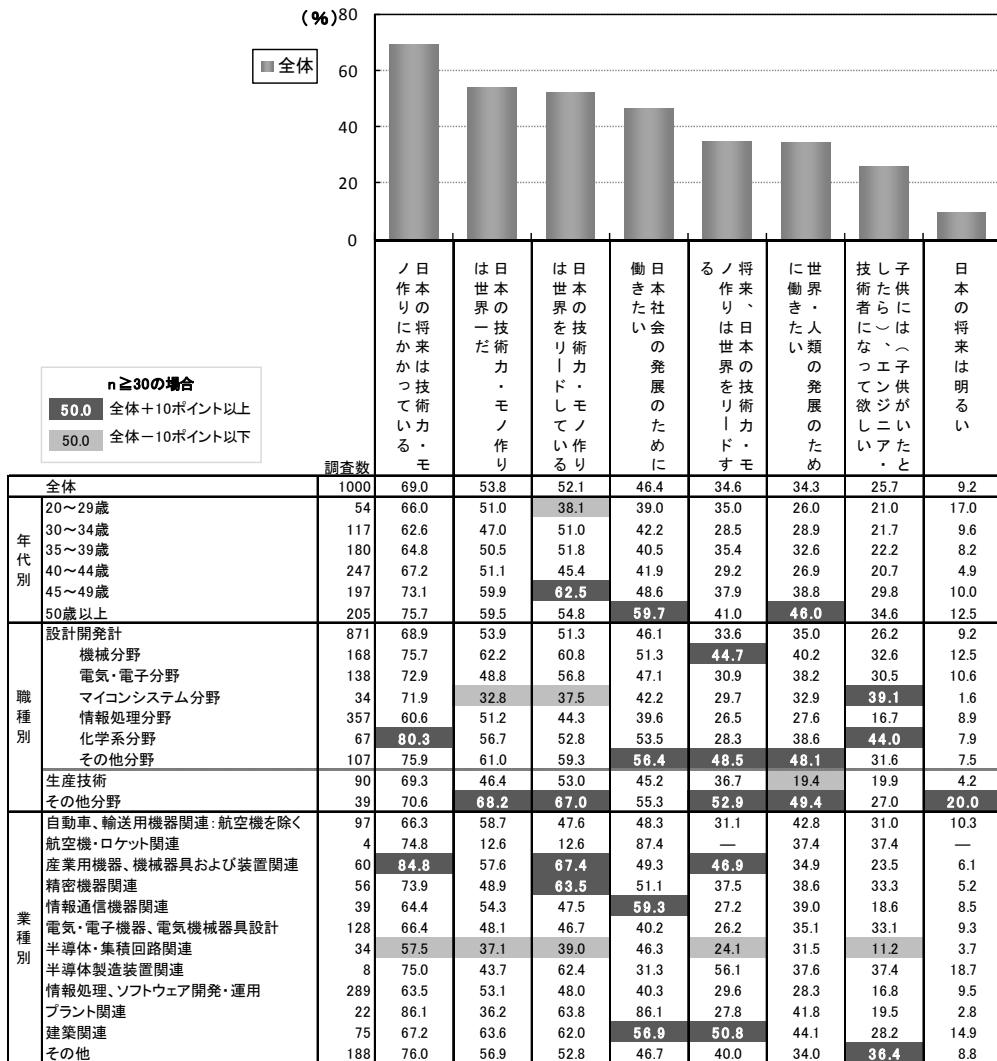


## 7-2)日本の技術力に対する考え方

年代別にみると、【44歳以下】の方が「日本の将来は技術力・モノ作りにかかっている」に加え、「日本の技術力・モノ作りは世界一だ」、「日本の技術力・モノ作りは世界をリードしている」、「将来、日本の技術力・モノ作りは世界をリードする」などのスコアが低い。

Q. 以下の事柄について、あなたにあてはまると思うものを、それぞれお答えください。

■日本の技術力に対する考え方【そう思う計】(全体／複数回答)



## 7-3)日本の技術力に対する考え方 ~今後技術力が高まると思う国~

今後技術力が高まりそうな国を自由回答で尋ね、回答結果をコーディングし集計した。

これをみると、「インド」が380件と突出して高く、以下、「中国」(197件)、「韓国」(57件)、「ベトナム」(47件)、「日本」(36件)と続く。すべての属性において、「インド」がトップ。

Q. 今後技術力が高まりそうな国はどこだと思いますか。

■今後技術力が高まりそうな国  
 (全体／自由回答)

【全体】

調査数 1000		
順位	名称	件数
1	インド	380
2	中国	197
3	韓国	57
4	ベトナム	47
5	日本	36
6	アメリカ	22
7	タイ	21
8	ブラジル	14
9	インドネシア	13
10	シンガポール	7
11	ドイツ	6
	東南アジア諸国	6
	アジア	6
14	台湾	5
15	マレーシア	4
16	フィリピン	3
17	カンボジア	2
	バングラデシュ	2
	イギリス	2
	イスラエル	2
	アフリカ	2
22	メキシコ	1
	エジプト	1
	エストニア	1
	スウェーデン	1
	チリ	1
	ロシア	1
	モンゴル	1
	ミャンマー	1
	トルコ	1
	南米	1
	特になし	273

【20~29歳】

調査数 54		
順位	名称	件数
1	インド	18
2	中国	9
3	韓国	3
4	日本	2
5	シンガポール	1
	ドイツ	1
	アジア	1

【30~34歳】

調査数 117		
順位	名称	件数
1	インド	43
2	中国	15
3	日本	7
4	ベトナム	5
5	タイ	3
	インドネシア	3

【35~39歳】

調査数 180		
順位	名称	件数
1	インド	73
2	中国	24
3	ベトナム	8
4	韓国	7
5	アメリカ	6

【40~44歳】

調査数 247		
順位	名称	件数
1	インド	89
2	中国	41
3	韓国	12
4	ベトナム	11
5	タイ	10

【45~49歳】

調査数 197		
順位	名称	件数
1	インド	84
2	中国	52
3	韓国	15
4	ベトナム	9
5	日本	7

【50歳以上】

調査数 205		
順位	名称	件数
1	インド	73
2	中国	56
3	韓国	20
4	ベトナム	14
5	日本	10

【設計開発(機械分野)】

調査数 168		
順位	名称	件数
1	インド	71
2	中国	43
3	日本	9
	ベトナム	9
5	韓国	8

【設計開発(電気・電子分野)】

調査数 138		
順位	名称	件数
1	インド	52
2	中国	34
3	韓国	8
4	アメリカ	4
	タイ	4
	ベトナム	4

【設計開発(マイコンシステム分野)】

調査数 34		
順位	名称	件数
1	インド	9
2	中国	6
3	韓国	4
4	ベトナム	3
5	タイ	2

【設計開発(情報処理分野)】

調査数 357		
順位	名称	件数
1	インド	140
2	中国	63
3	ベトナム	16
4	韓国	12
5	日本	9

【設計開発(化学系分野)】

調査数 67		
順位	名称	件数
1	インド	27
2	中国	6
3	韓国	5
4	アメリカ	3
5	ベトナム	2

【生産技術】

調査数 90		
順位	名称	件数
1	インド	27
2	中国	18
3	韓国	8
4	日本	6
	ベトナム	6

【その他技術系】

調査数 39		
順位	名称	件数
1	インド	12
2	中国	6
3	韓国	4
4	ベトナム	2
	ドイツ	2